

2023年3月24日
高砂熱学工業株式会社

広島県北広島町と「ゼロカーボントOWN実現に向けた包括連携協定」を締結

高砂熱学工業株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長COO:小島和人/以下「当社」)は、広島県北広島町(町長:箕野博司/以下「北広島町」)と、2050年ゼロカーボントOWN※1を実現し、地域社会の持続可能な発展に寄与するため、3月23日に包括連携協定を締結しましたのでお知らせします。



左から、北広島町長 箕野博司、当社 執行役員 研究開発本部長 山本一郎

1. 趣旨

北広島町は、2022年8月に2050年ゼロカーボントOWN宣言※1を行い、地域の持続的な発展のために、官民が連携して脱炭素を推進することとしています。特に、この実現には地域の基幹産業であり、二酸化炭素(CO₂)排出量の8割を占める「ものづくり企業」(製造業)との連携が欠かせません。

当社は、オフィスビルから工場まで、あらゆる用途の建物空調設備を手掛ける国内最大手企業です。時代のニーズに合わせて省エネルギー技術を磨くとともに、これまで培った熱利用・グリーン水素技術等を活用したカーボンニュートラル事業にも取り組んでいます。

この度の連携協定により、産業部門の省エネルギーや再生可能エネルギー導入を推進するとともに、産業部門から排出される未利用エネルギーを地域内で循環させる取組等を通して、町全体の脱炭素と持続可能な発展の両立を目指します。

2. 連携協定の主な内容

両者の連携により以下取組の検討・導入を進めていきます。

(1) 町内企業・事業者の省エネの取組

建物内の空調に関して高効率空調機器の導入や排熱の利用等によって省エネ化を推進します。また、産業用機械の排熱を町内の熱利用施設に供給する取組を推進します。

(2) 町内企業・事業者の再生可能エネルギーの導入に向けた取組

建物内で使用する熱や電気を木質バイオマス等の再生可能エネルギーに転換する取組を推進します。

(3) グリーン水素を活用した水素社会形成の取組

町内の再生可能エネルギー施設の余剰電力等を使用してグリーン水素を生成し、化石燃料の代替燃料として町内に実装する取組を推進します。

(4) 地域内エネルギー循環の構築

自家消費型の再生可能エネルギーの普及と、蓄電池や水素発生装置等を組み合わせて、地域内でマイクログリッドを構築する取組を推進します。

(5) その他、地域の活性化

【北広島町について】<https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/>

2022年8月に広島県内8番目となるゼロカーボンタウン宣言を行い、2023年3月には地球温暖化対策の総合的な推進を図るための「北広島町地球温暖化対策実行計画」を策定した。計画では、町民憲章の「自然の恵みを大切に、生かし、美しく住みよい町をつくります」という思いを大切に、「エネルギーの地産地消」を目指して①省エネルギー社会の推進、②小さなエネルギー生産工場の整備、③森林の適正管理の推進の3つの基本方針に基づく取組を進めることとしている。

【高砂熱学工業(株)について】<https://www.tte-net.com>

1923年創業以来、空調設備工事の設計・施工を中心に、人にやさしい快適空間の創出、高度に管理された生産工程環境の構築、AIを活用した設備の最適な運転や省エネのコンサルティングなど、建物ライフサイクル全般にわたってのトータルなサービスを日本全域・中国・東南アジア・インド・メキシコで展開。心地よい環境を創造する「環境クリエイター[®]」として脱炭素・サステナブル社会の実現に寄与する技術・サービスの創出に取り組んでいます。

※1 2050年ゼロカーボンタウン(シティ)宣言

地方公共団体が、脱炭素社会に向けて2050年までに温室効果ガスの実質排出量ゼロを目指して取り組むことを宣言するもので、2023年1月31日時点で全国831自治体が宣言しています。

(参考)環境省:<https://www.env.go.jp/policy/zerocarbon.html>

本件に関するお問合せ先

コーポレート・コミュニケーション室 平木・成田まで TEL 03(6369)8215 (直通)

平木 携帯: 070-2176-7713 E-mail: terumasa_hiraki@tte-net.com

成田 携帯: 080-6591-3037 E-mail: akiko_narita@tte-net.com